

第10章

ファイル操作

1. テキストファイルの入出力

重要な構文:

- ▶ テキストファイルを開く (Excel 上に開く)

```
構文: Workbook オブジェクト .OpenText (Filename, Origin, StartRow, _  
      DataType, TextQualifier, ConsecutiveDelimiter, Tab, _  
      Semicolon, Comma, Space, Other, OtherChar, FieldInfo, _  
      TextVisualLayout, DecimalSeparator, ThousandsSeparator, _  
      railingMinusNumbers, Local)
```

- ▶ テキストファイルを開く (読み書きの承認)
Open "ファイル名" For 開き方 As [#] ファイル番号
- ▶ テキストファイルへデータを書き込む
Print [#] ファイル番号, データ
- ▶ テキストファイルからデータを1行読み込む
Line Input [#] ファイル番号, 変数名
- ▶ テキストファイルを閉じる
Close [#] ファイル番号
- ▶ ファイルの終端を調べる (終端に達すると True を返す)
EOF(ファイル番号)
- ▶ ファイルからデータを読み込み、一括で変数に格納する
Get [#] ファイル番号, [読み込み開始位置], データを格納する変数
- ▶ 変数をテキストファイルのサイズと等しくする
変数名 = Space (FileLen(ファイル名))

▶ 1-1 テキストファイルを開く

■ テキストファイルと CSV ファイル

● テキストファイル

文字情報だけで構成されたファイルです。

縦方向の区切りが必要で、区切り方によって2種類に区分されます。

■ 区切り文字形式

タブ、セミコロン(;)、カンマ(,)、スペースなどの文字で各データが区切られているテキストファイルです。

氏名, 〒, 都道府県, 市区町村, 番地
谷村 裕美, 166, 東京都, 新宿区, 双葉町△ - △ - △△ - △△△
山田 一郎, 230, 神奈川県, 横浜市, 鰐ヶ浦△△△ - △△
斎藤 靖男, 920, 埼玉県, 大宮市, 安心院△△△△
武田 和夫, 945, 群馬県, 桐生市, 一気町△△△△△△
保田 英子, 133, 東京都, 中央区, 河西△ - △ - △ - △△△
佐久間 徹, 744, 栃木県, 小山市, 豪華絢爛△△ - △△

■ 固定長フィールド形式

フィールドごとにデータサイズが統一された形式です。各列のデータサイズが等しいので、結果的には列全体(レコードごと)のサイズも等しくなります。

氏名	〒	都道府県	市区町村	番地
谷村 裕美	166	東京都	新宿区	双葉町△ - △ - △△ - △△△
山田 一郎	230	神奈川県	横浜市	鰐ヶ浦△△△ - △△
斎藤 靖男	920	埼玉県	大宮市	安心院△△△△
武田 和夫	945	群馬県	桐生市	一気町△△△△△△
保田 英子	133	東京都	中央区	河西△ - △ - △ - △△△
佐久間 徹	744	栃木県	小山市	豪華絢爛△△ - △△

● CSV ファイル

アイコンがExcelで、かつダブルクリックするとExcelが起動して開かれますが、実態はテキスト形式のファイルです。

データは半角カンマで区切られ、1件ごとに改行されています。

■ Excel を開く場合と同様の方法でテキストファイルを開く…Open メソッド

Open メソッドでテキストファイルを開くことができます。

```
構文：Object.Open (FileName, UpdateLinks, ReadOnly, Format, Password, _
WriteResPassword, IgnoreReadOnlyRecommended, Origin, _
Delimiter, Editable, Notify, Converter, AddToMRU)
```

● 重要な引数

引数	内容
FileName	開くブックのファイル名を指定 [省略不可]
Format	テキストファイルを開く時の区切り文字指定 [省略可能]

Point

固定長フィールド形式では、データの長さが異なる時は、空白を挿入して長さを揃えます。その時に、文字列の場合は右に空白を挿入し、数値の場合には左に空白を挿入するのが一般的です。